

## シクロケムバイオ、国際会議で、最高賞受賞

先月、韓国で開催された48ヵ国が参加する生物情報学の国際会議 IBS 2012で(株)シクロケムバイオ(東京都中央区、☎03-5614-7147)の主任研究員である生田直子氏がポスター賞の最高賞(The best poster award)を受賞した。共同研究先の金沢大学理工研究域自然システム学系の松郷誠一教授、同社代表取締役である寺尾啓二氏との連名によるもので、タイトルは『Characterization of stabilized R(+)-alpha lipoic acid by complexation with  $\gamma$ -cyclodextrin』。応募総数1,011作品の中から選出されたもの。

内容は機能性食品素材として注目されていたが不安定なために使用されてこなかった $\alpha$ リポ酸R体を環状オリゴ糖である $\gamma$ -シクロデキストリンによる包接で安定化に成功し、さらに、改善された特性を評価したもの。「従来の $\alpha$ リポ酸は、



受賞を喜ぶ寺尾社長(中央左)と生田氏(中央右)

サプリメントのみならず糖尿病治療薬としての医薬品においても比較的安定な非天然の光学異性体を含むラセミ体のみでの販売だった。不安定な天然型のR体のみを $\gamma$ -シクロデキストリンで包接することで、サプリメントとして利用できるようになった発見が世界的に認められた」としている。